

サラリーマン

# 金太郎

本宮ひろ志

Motomiya Hiroshi

5

金太郎、遂げる





サラリーマン  
**金太郎**

本宮ひろ志

Motomiya Hiroshi

5

金太郎、遂げる





黒川優作社長



大和守之助会長



矢島金太郎



鷹司誠士



末永美鈴

### 【前巻までのあらすじ】

● サラリーマンになるため、漁師をやめて上京してきた一人の男——その名を“矢島金太郎”という。亡き妻、明美の忘れ形見・竜太を背負い、一流企業「ヤマト建設」にやってきた。しかしこの男、元は暴走族「八州連合」の頭<sup>领会</sup>という型破りな経歴の持ち主。ヤマト建設会長・大和守之助を救つたのがきっかけで、中途仮採用されたのだった。その頃、社内では、創業者・大和会長派と天下り官僚・大島社長派の権力争いが激化していた。一時は引退をも考えた大和だったが、金太郎の励ましで闘う決意を新たにする。そして、それに影響された社員の田中や石川達も大島の天下り時のインサイダー取引や会社の使途不明金悪用の証拠をつかもうと動きだした。

定時取締役員会が開かれ、大和は大島の解任を要求。古参の神永専務らの賛同を得て大島は解任され、黒川専務が新社長に就任する。田中達は熱意を認められ昇進し、金太郎は、ついに正社員となつた。社内で人望を集める金太郎は、政財界を牛耳る大物フイクサー・三田にも気に入られ、その縁で、銀座の名花・美鈴と恋に落ちた。そんな折り、金太郎は、荒船山トンネル工事現場に派遣されることになつた。前社長・大島が裏金作りに利用した上、自殺者まで出したいたいわく付きの現場だ。着任早々、工事を請け負う一ツ橋土木と対立しケガをした金太郎だつたが、何とか和解にこぎつけ、突貫工事が始まった。

サラリーマン  
**金太郎**

5

金太郎、遂げる

【目次】



第32話・金太郎、なし遂<sup>と</sup>げる。

第33話・金太郎、帰る。

第34話・金太郎、帰郷する。

第35話・金太郎、ライバルに会う。

第36話・金太郎、人を繋<sup>つな</sup>ぐ。

第37話・金太郎、キャリアを示す。

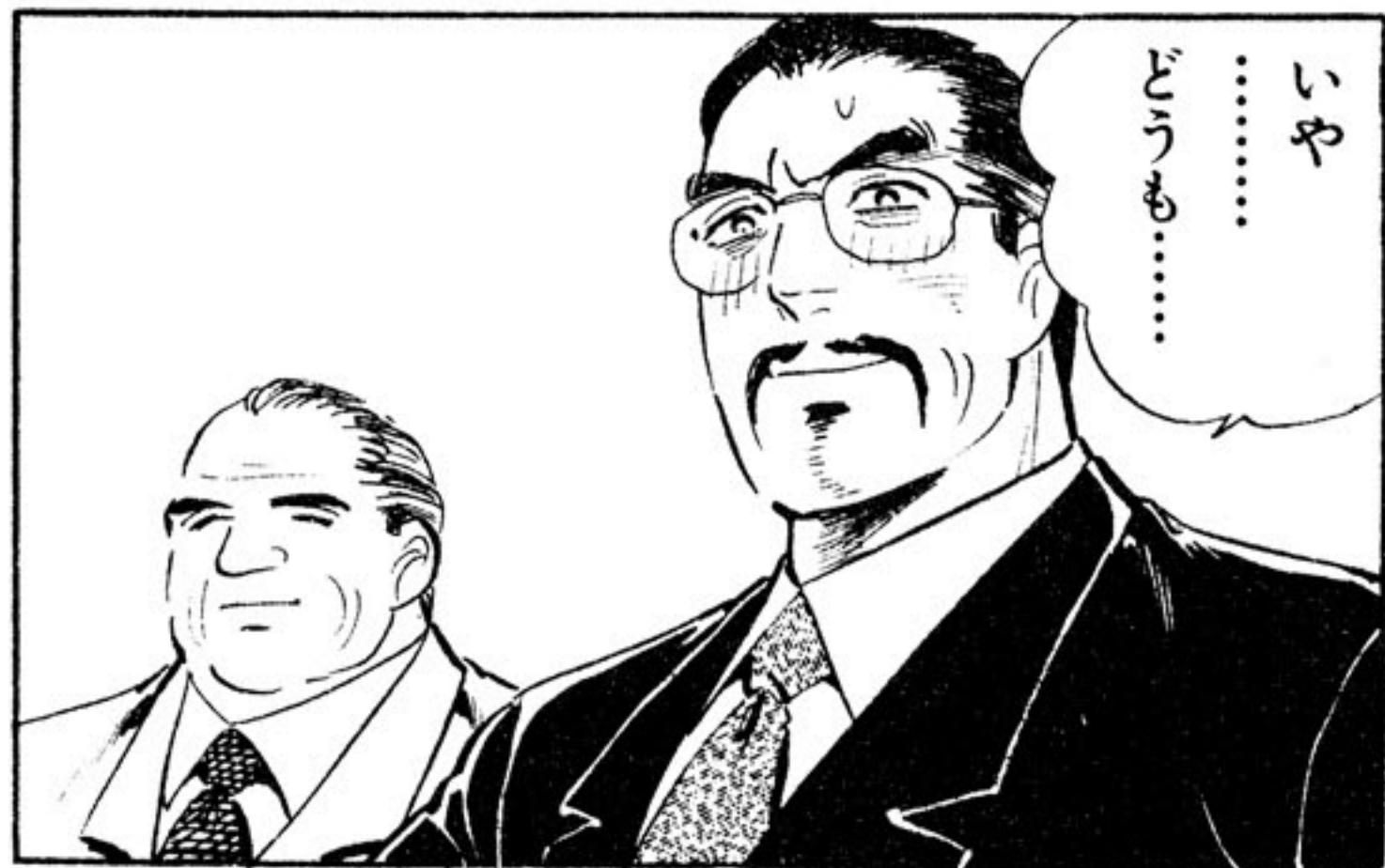
## 【登場人物】

矢島金太郎（やじま・きんたろう）……………ヤマト建設営業課社員・本作の主人公  
矢島竜太（やじま・りゆうた）……………金太郎の長男  
矢島明美（やじま・あけみ）……………金太郎の亡き妻  
大和守之助（やまと・もりのすけ）……………ヤマト建設創業者・現会長  
大島源造（おおしま・げんそう）……………前ヤマト建設社長・元建設官僚  
黒川優作（くろかわ・ゆうさく）……………ヤマト建設代表取締役社長  
神永宏（かみなが・ひろし）……………元ヤマト建設取締役専務  
水木衛（みずき・まもる）……………ヤマト建設取締役・金太郎の隣人  
前田一郎（まえだ・いちろう）……………ヤマト建設設計課課長  
田中政和（たなか・まさかず）……………ヤマト建設営業課課長  
石川吾郎（いしかわ・ごろう）……………ヤマト建設人事課課長  
新井徳明（あらい・のりあき）……………ヤマト建設営業企画課係長  
三田善吉（みた・ぜんきち）……………大物フィクサー  
末永美鈴（すえなが・みすず）……………政財界の大物が集まる一流クラブのママ  
末永美々（すえなが・みみ）……………美鈴のひとり娘  
鷹司誠士（たかつかさ・せいじ）……………元通産省役人・ヤマト建設調査係長

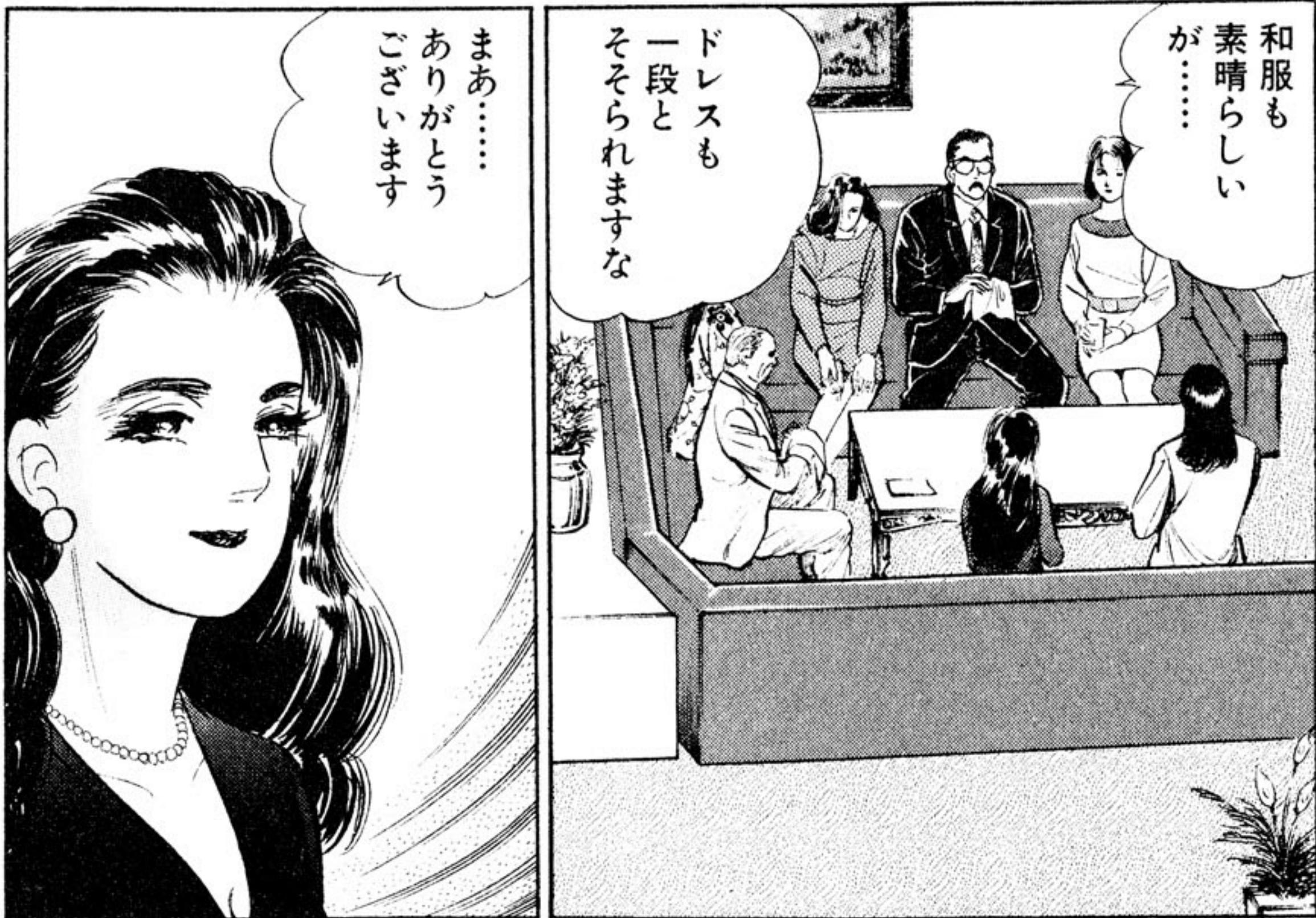
# 第32話

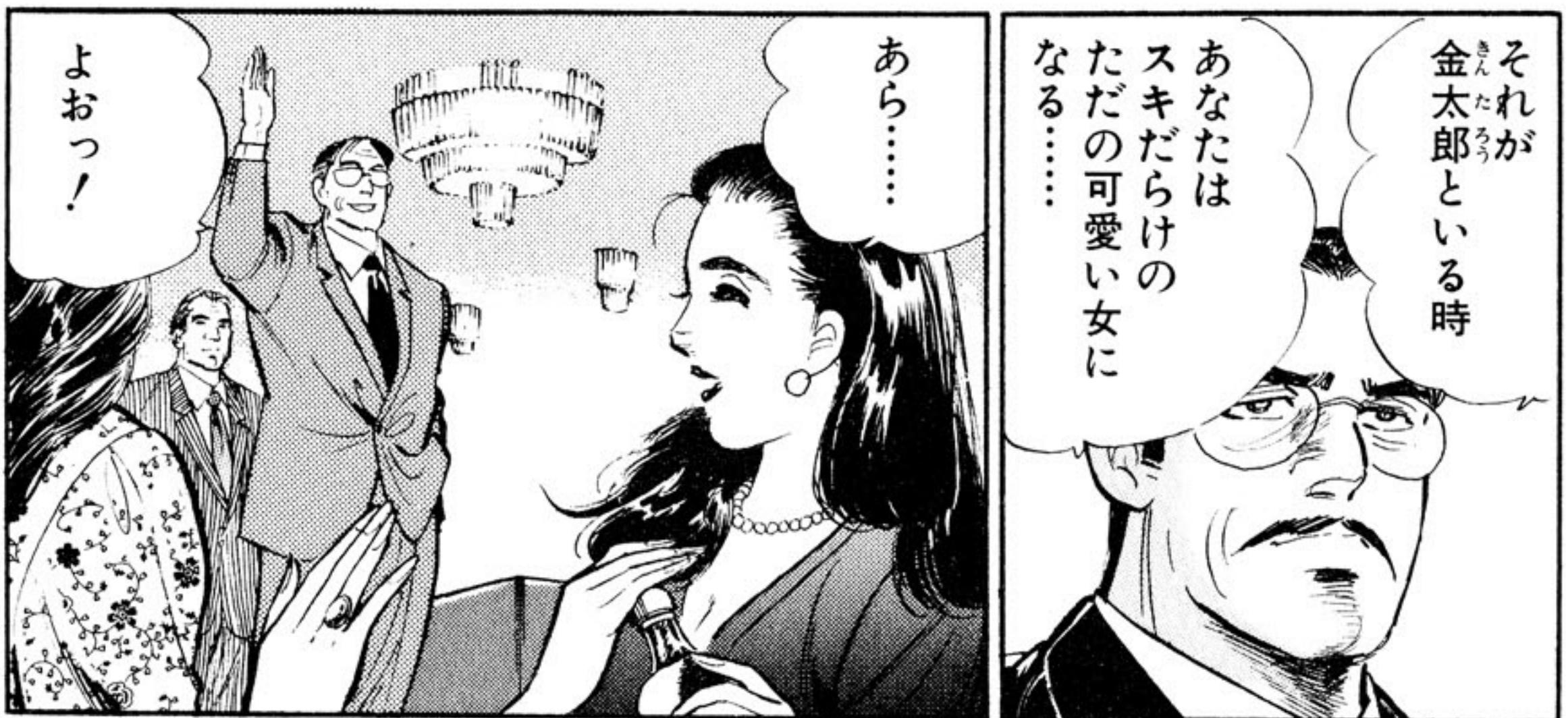


金太郎、なしえる。

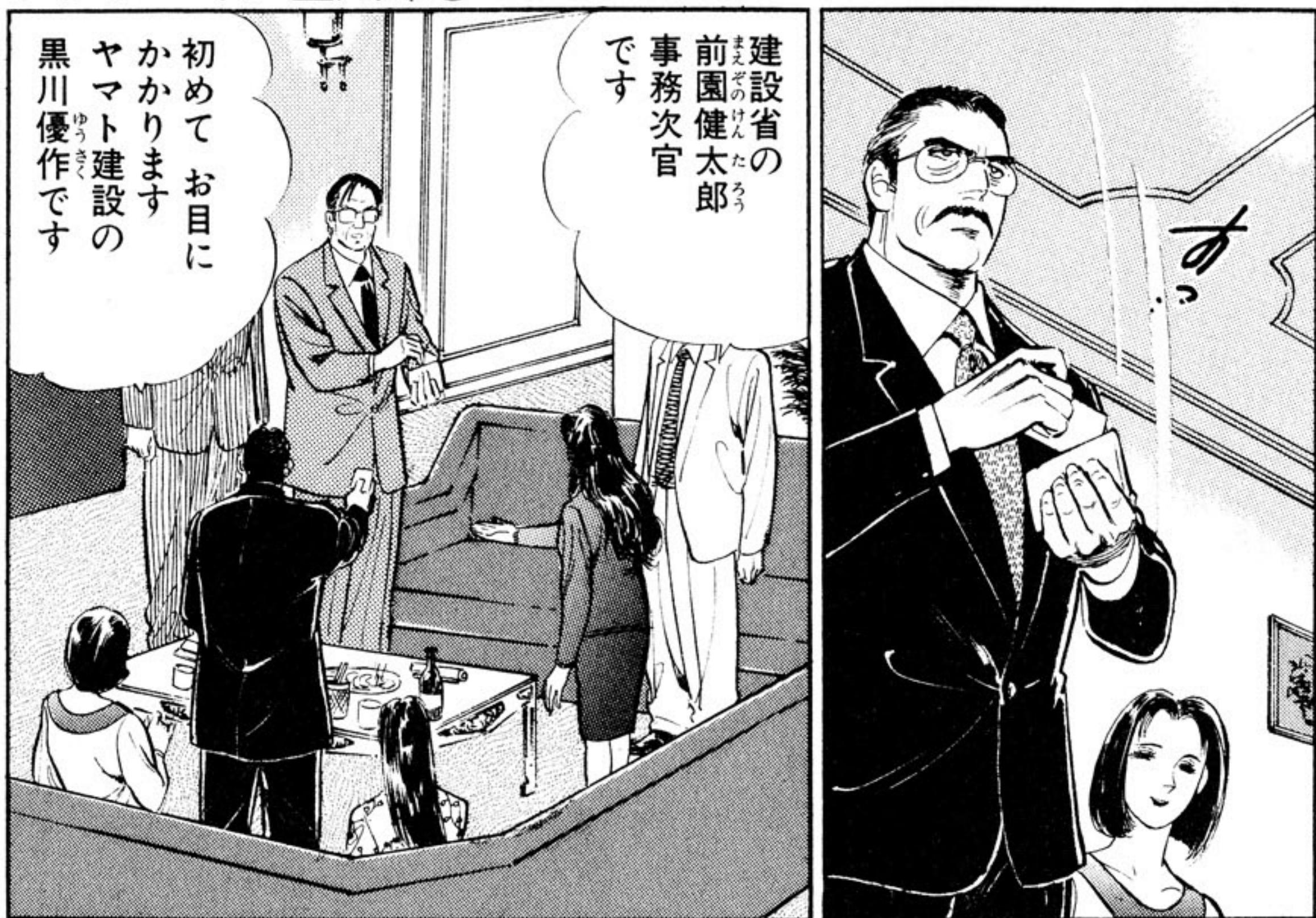


## サラリーマン金太郎⑤



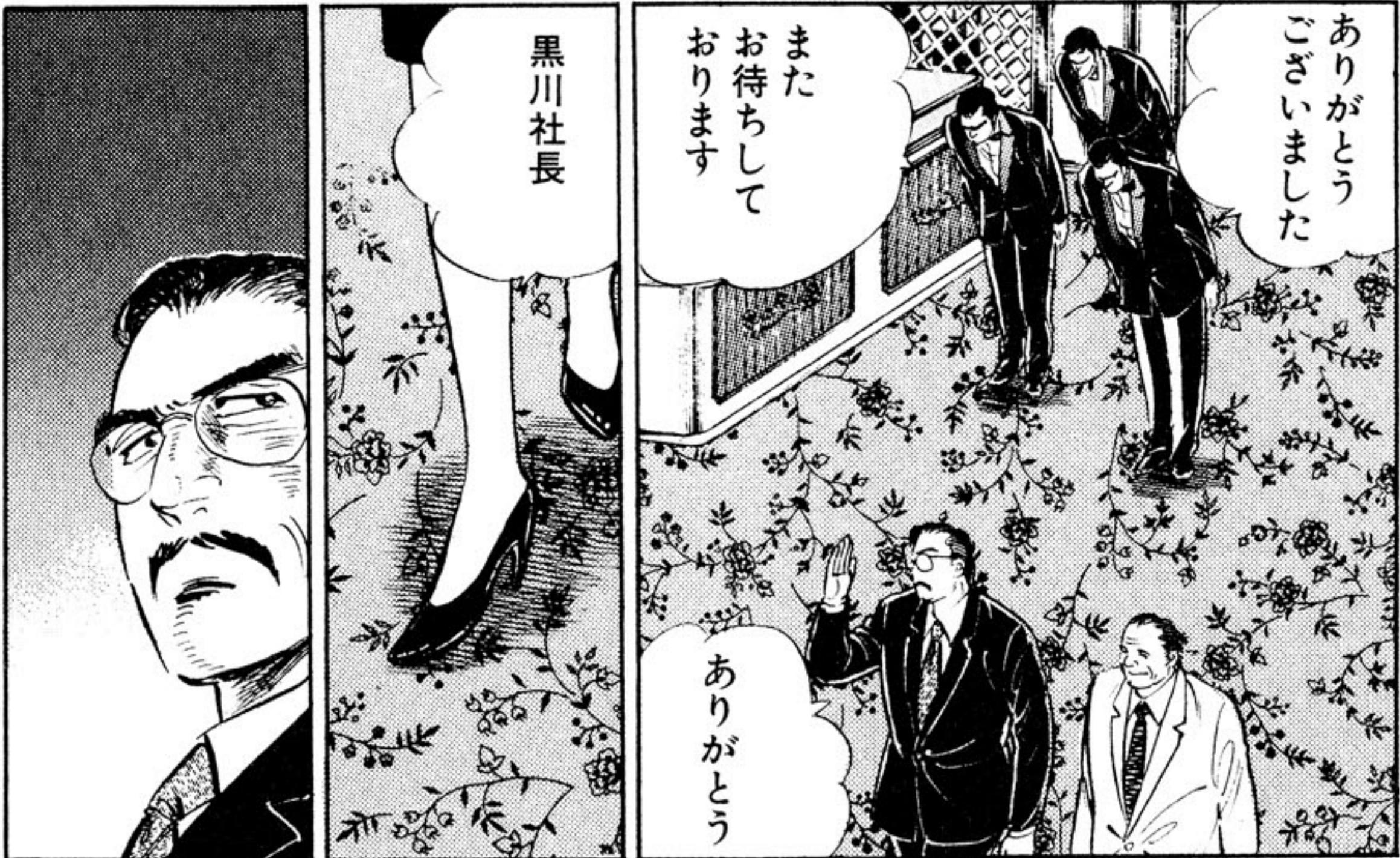


## サラリーマン金太郎⑤



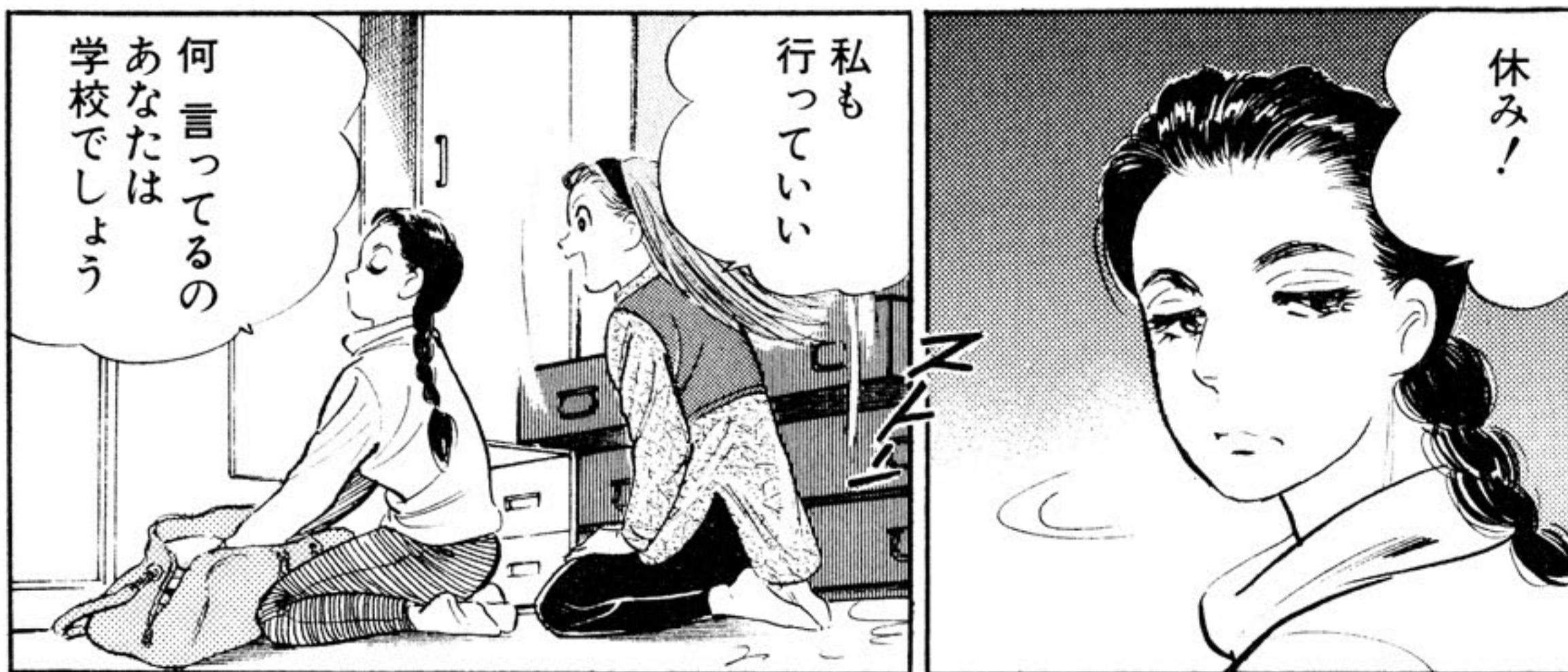
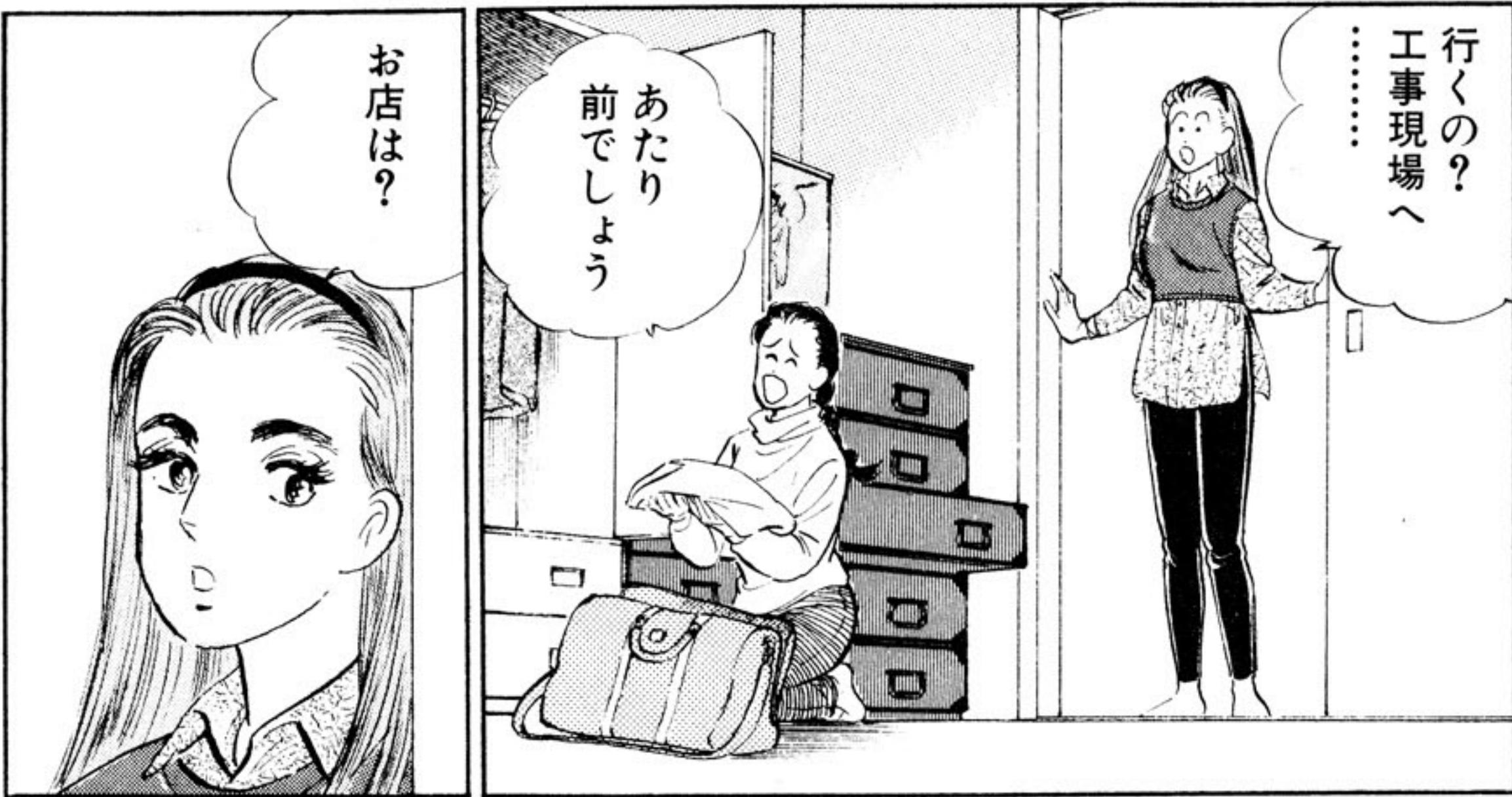


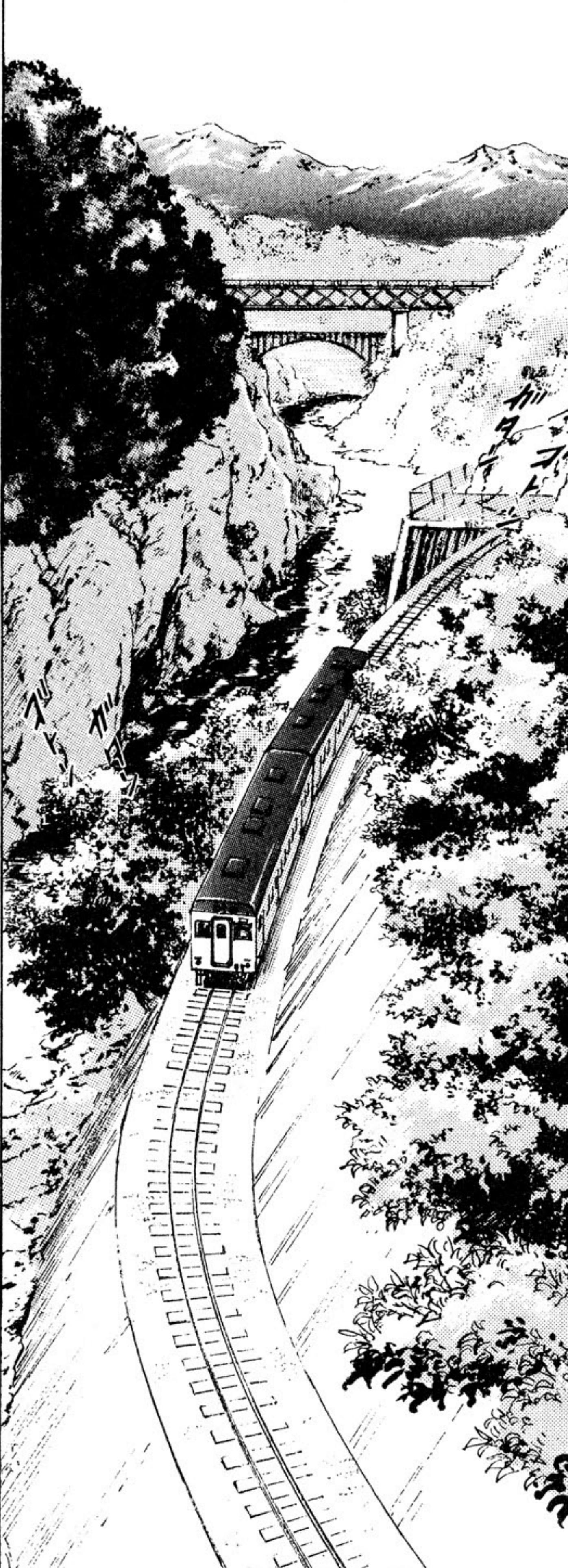
## サラリーマン金太郎⑤





# サラリーマン金太郎⑤





# サラリーマン金太郎⑤

